COMMUNICATION MAGAZINE

The KPUM TIMES

vol.09
September 2022

京都府立医科大学の「いま」を伝える広報誌

◎特集

創立150周年
―継承し創造する未来―

京都府公立大学法人
京都府立医科大学
KYOTO PREFECTURAL UNIVERSITY OF MEDICINE

京都府立医科大学の「いま」を伝える広報誌

COMMUNICATION MAGAZINE

The KPUM TIMES

vol. 09

CONTENTS ≫

特集
03 | 創立150周年
— 学長挨拶
— 150周年記念インタビュー
— 150周年WEEK

09 | 学生団体紹介
トリアス祭実行委員会

10 | 卒業生からのメッセージ
迫　拓地さん

11 | 産学公連携最前線
共同研究講座

12 | TOPICS
保健管理センター
医学科カリキュラム：臓器別ユニット

14 | 新任教授紹介
分子病態感染制御・検査医学　貫井教授
内分泌・乳腺外科学　直居教授
精神看護学　郷良教授

16 | 大学からのお知らせ

創立150周年記念事業への寄附のお願い

大学本部棟の大階段教室

11月に創立150周年を迎えます。
木製の大階段教室に歴史が刻まれています。

創立150周年を迎えて －継承し創造する未来－

学長　竹中　洋

本学は1872年に療病院として誕生して、今秋11月に150周年を迎えます。昨年10月には大学昇格100年の節目を祝し、この2年間は正に京都府立医科大学がその歴史と存在を考える時でもあります。現存する公立大学で大学昇格100年を過ごしたのは本学だけですし、医学部単科の大学としては他に類を見ません。150年の歴史の歩みの中で101年を引き算してみるとその間に本学の礎がより明確になるように思います。この49年間については詳細に調査をされ150周年記念誌に掲載される予定です、記念誌を楽しみにしてください。

粟田口青蓮院に初代校長ヨンケルが赴任した頃、医学教育の基本は今と変わらず人体解剖学でありました。蹴上を少し上った所にある安養寺は本学の菩提寺で、大学墓地には病理解剖をお願いした明治期のお墓も残されており、尊いご献体があっての本学の医学教育であることが偲ばれます。

歴史を重ねることは全てが開拓者であると言って過言ではありません。一方、表現を変えれば国の制度や法的基準が後から出来上がってきたとも言えます。この感覚は極めて重要で、例えば本学の教育や研究指導の方法が脈々と教室講座制の下で運営管理されてきました。これが学校教育法や大学設置基準で示された基準化・標準化とどのように整合性をもっているのか、ある意味では本学の学修者への対応の大きな課題となっています。

この6月中旬に医学科では2回目の医学教育分野別評価を受審しました。附属病院では病院機能評価が8月下旬に予定されています。この外部評価に真摯に対応することは、150年の伝統を継承しながら今の時代に則した体制を維持することであり、そしてそれは「継承し創造する未来」に繋がるものと考えています。

特集 創立150周年

大学創立
150周年記念
インタビュー

150年の誇りを胸に
将来の医療を見据え高く羽ばたこう

今回、夜久均先生をお迎えし、4名の学生が、今、聞きたいことを率直に質問してみました。150周年記念事業とこれからの医療を担う学生へのメッセージに、夜久先生の熱い思いが溢れます。

※本インタビューの参加学生が150周年記念事業としても記事を出しています。
150周年記念事業（インタビュー）のサイトをご覧ください！

参加者

京都府立医科大学附属病院長
創立150周年記念事業実行委員長
夜久 均

5回生 長山 透流　5回生 中江 彩
4回生 岡田 優人　3回生 杉本 亞梨朱

建学の精神を未来へ引き継ぐ150周年記念事業

長山　本日はよろしくお願いします。さっそくですが、大学創立150周年記念事業実行委員長としての意気込みをお聞かせください。

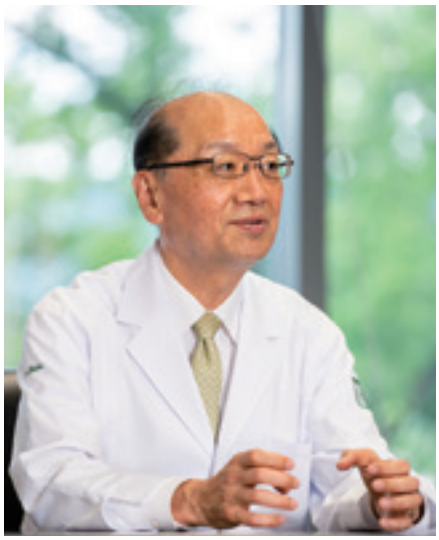
夜久　大学の歴史の大きな節目に実行委員長を仰せつかったことを名誉に思っています。その間、病院長になり、新型コロナウイルスの大流行があり、準備に不安に思うこともありましたが、しかし何よりも学生さんのための式典である、との思いで自分自身を鼓舞してきました。すなわち、創立当初より「世界トップレベルの医学・医療を地域へ」を目指し、今日へと至る本学の高き理想や理念をこの機会に再認識し、これからの日本と地域の医療を担う学生さんたちの誇りとしてほしい、という思いです。

長山　150年前、創立のいきさつも独特ですね。

夜久　はい。鳥羽伏見の戦いで傷を負った会津藩士の山本覚馬が、外科医療、麻酔医療といった西洋医学の治療を受けて、ぜひ日本に取り入れたい、学問と医療がなければ国は亡ぶと考えました。幕末の争乱で疲弊し天皇陛下が去って空虚であった京都の人々の期待を受けて、当時の槙村知事、青年蘭方医の明石博高らも尽力。時の政財界からはもちろん、府民自らも運動に参加し、地元の人々から多くの寄付金が寄せられました。そして病院と学校がひとつとなった療病院が誕生。これが本学の始まりです。まさに建学の精神が現在の理念に引き継がれています。

岡田　府民、市民との関わりの深さゆえでしょうか、150周年記念事業でも府民公開講座が開かれているのは特徴的だと思います。

夜久　確かに。今年を150周年イヤーとして2ヵ月ごとに府民公開講座を開いています。3月は医療の公共性、5月は地域医療構想に基づく地域連携、7月は小児の療養環境、9月には老化研設立30周年がテーマです。



夜久実行委員長

中江　学内に向けてはどういうことが行われるのですか？

夜久　11月5日の式典直前の週は150周年ウィークとし、3日にはトリアス祭・オープンキャンパス・オープンホスピタル合同開催、4日は国際交流シンポジウム、そして5日の式典本番と繋げていきます。150周年の記念事業としては学生・若手医師への教育研究支援事業として「先進的臨床技能習得センター」（VR教育、シミュレータートレーニング、学修セクション）の設立、記念映画「幕末のヒポクラテスたち」の制作の準備、記念出版プロジェクトを同時に進めています。

コロナや2025年問題で医療の仕組みが変わる

杉本　とても楽しみです。ところで記念事業の準備にコロナはどのような影響を与えたのでしょうか。

夜久　思うように動けなかったですからね、やはり寄付金集めなどにはとても苦労しました。けれど、医師、病院長として学んだことはとても多かったですよ。

杉本　それはどういう点ですか？

夜久　たとえば私は心臓血管外科医ですが、症例数等、京大病院など他の病院とは競争の図式がありますね。けれどそうではなくて連携すればよりよい医療が提供できる可能性がある、つまり、医療とは本来連携である、という点がよくわかりました。個別でやっていたのではコロナにはとてもじゃないけど対応できないわけです。そこで府知事・京大病院長・私の3者の名前で、府内の主な病院を機能別に重症医療施設、中等症、軽症に分け、コロナ対応病床確保を依頼し、さらにお互いが対処法などの情報を共有し支援を行いました。実は今でも重症医療機関13施設の病院長が月に1回、ウェブ会議を行っています。顔の見える関係と連携の強化は今までになかったことで、これからの医療の先取りであろうと思います。

長山　先取りというのは、コロナなど感染症に関わらず、ということでしょうか。

夜久　そうです。少子高齢化により、近い将来必ず疾病構造が変わります。2025年には団塊世代が後期高齢者となり、今までの急性期偏重の医療から回復期にも重点が置かれていきます。回復期病院を経て在宅医療というふうに、1つの医療機関で完結する医療から地域で完結する医療へと仕組みを変える必要が出てきます。さらにその先、2040年には団塊ジュニアが一斉に定年を迎えます。その頃医療の担い手は減っていますし、さらに地域全体で完結する医療が促進されることでしょう。

岡田　疾病構造が変わる時期に私たちは医療者となります。何かアドバイスをいただけませんか。

5回生　長山 透流

夜久　まず病院の集約化という問題は必ず出てきて、人材も集約されるでしょう。そうしたとき必要なのは効率的な医療、技術系でいえば手術です。患者さんそれぞれにベストの手術方針は重要ですが、さらに効率重視のトレーニングを海外で積むのもよいと思います。

中江　先生が長年勤務されていたシドニーでも効率的な医療を？

5回生　中江 彩

夜久　ええ。シドニーでは当時、人口およそ350万人に心臓手術のできる施設は7ヵ所で、日本からすると少ない。するとそこに患者さんが集中します。また病院ごとに予算が決められているという条件もあり、その枠内でどれだけ多くの人に手術をしてあげるのかを考えます。それは標準治療を効率的に行うということ。それもひとつの医療の考え方ですよね。効率のいい手術にはある程度のスピードが求められます。手術はスピードではないけれど、スピードの概念を持たない外科医は進歩しません。もちろん時間をかけるところはそうするのだけど、それ以外は実にスピーディに手術をします。おそらくその効率性の部分は日本よりも海外の方が身に付きやすいと思います。

特集 創立150周年

ジェネラリストとしての素養を高め地域に還元を

杉本　外に出るというのは海外が有意義ということなのでしょうか。

夜久　心臓血管外科医の中には海外に出ることなく素晴らしい先生が多くいらっしゃいますし、海外組、国内組半々かな。でも必ず自施設から外に出て実力を磨いておられます。まぁしかし海外ではいろいろな人種や民族の方と仕事をしてびっくりするような経験もしますので、精神的にタフになるし、人間的に成熟する気がしますね。世界は広い。できれば海外に出て、学んで、実力をつけて、それを日本に持ち帰り、母校、そして地域に還元するということをぜひやってほしいと思います。

4回生　岡田 優人

長山　最後に、コロナ禍に学生生活を送っている私たちの世代は、何を学ぶべきなのでしょうか。

夜久　私自身、医療の基礎の大切さを思い知りました。たとえば防護服ひとつ着られませんでしたから。本来は着られて当たり前。そういうジェネラルな部分の素養を身に着けて専門の道へ進んでほしいと思います。日本は専門家は多いですが、ジェネラリスト的な人材が少ないと思うのです。だからコロナのような新興感染症や災害時になかなか対応できない。若いうちにジェネラリスト的な素養を身に着けて、その上で専門の道を歩んでほしい。若い人にはぜひともそれをやってほしいと思います。

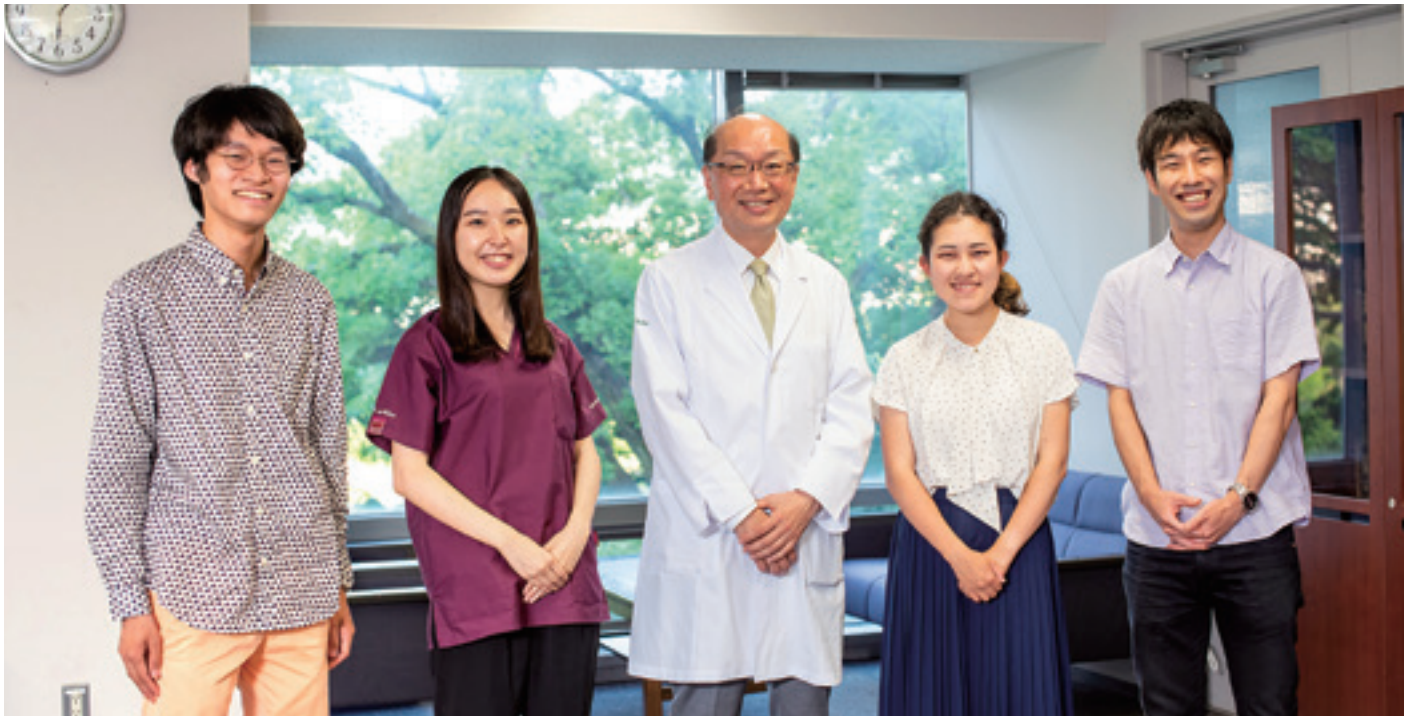
中江　なるほど。そういう医療者を目指したいです！

3回生　杉本 亞梨朱

杉本　私は京都府北部の医療の担い手になりたいと思っています。そのためにもジェネラリストという言葉を心に刻みたいです。

岡田　海外で技術と人間性を磨く機会をぜひ持ちたいと気持ちを新たにしました。

長山　先生の150周年に寄せる思いや体験談をお聞きし、どんな風にキャリアを積んでいけばいいのか、大変参考になりました。ありがとうございました。



150周年記念WEEKの紹介

11月5日(土)に国立京都国際会館にて創立150周年記念式典を開催します。
同時期に150周年記念WEEKとして関連イベントを開催し、全学で創立150周年を盛り上げます。

1 150周年記念WEEK

11月2日～3日
(水、木・祝)

トリアス祭

会場:京都府立医科大学　河原町・広小路キャンパス周辺

・「学部学生とともに学ぶ京都府立医科大学の歩み」シンポジウム
・「拝見!大先輩の講義ノート」展示会(附属図書館と共催)
・大同窓会2022(学友会大学支部ホームカミングデーと共催)

11月3日(木・祝)

オープンキャンパス
オープンホスピタル
チャリティーウォーキング
府民公開講座

会場:京都府立医科大学　河原町・広小路キャンパス周辺

11月4日(金)

国際シンポジウム

会場:京都府立京都学・歴彩館

11月5日(土)

記念式典　祝賀会

会場:国立京都国際会館

<記念式典>

演奏(オーケストラ等)、主催者挨拶、来賓祝辞、誓いの言葉
記念講演　山極 壽一　総合地球環境学研究所所長・京都大学前総長
「未曾有の地球危機に今考えるべきこと」等(予定)

<祝賀会>

祝舞、バイオリン演奏、祝宴、学歌・校歌斉唱　等(予定)

特集 創立150周年

2 創立150周年に向けた歩み～府民公開講座・イベント2022～

創立150周年を記念して府民公開講座、イベントなどの開催をご紹介します。

- 3月29日（火）　府民公開講座：公共性の高い社会的共通資本としての医療（府立医科大学）
- 5月28日（土）　府民公開講座：地域医療構想に基づく地域連携のあり方（府立医科大学）
- 7月 1日（金）　府民公開講座：がんと陽子線治療　特徴と治療実績、保険適用拡大（府立医科大学）
- 7月 3 日（日）　府民公開講座：がんと向きあう（北部医療センター）
- 7月17日（日）　府民公開講座：京都府立医大附属病院における小児の療養環境について（府立医科大学）
- 9月11日（日）　府民公開講座：脳・血管系老化研究センター30年の歩み（府立京都学・歴彩館）
- 11月2日（水）～11月3日（木・祝）　トリアス祭
- 11月3日（木・祝）～11月5日（土）　京都府立医科大学創立150周年記念WEEK

※9月以降のイベントに関する開催日時、会場等は現時点での予定です。新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、変更・中止になる場合がございます。

3 150周年記念グッズ第２弾

この度、創立150周年記念事業のさらなる普及と気運高揚を込め、「記念グッズ第2弾」を作成しました。150周年記念事業成功に向け、ご協力いただけますと幸いです。

京都府立医科大学 150周年記念事業実行委員会

本革製しおり

7cm×5cmサイズの中央に「記念ロゴ」をデザイン。素材は丈夫な本皮を使用したブックマーカー（栞）です。お気入りの書籍のお供にご利用ください。 価格：550円

150周年記念オリジナル ふせん

大学スクールカラーをイメージした「緑色」をベース。使いやすく大学でも定評のある「70×75mm角サイズ」に仕上げました。

価格：300円　※数量限定品

150周年記念オリジナル クリアホルダー

京都府立医科大学の卒業生が作画した「大学本部棟」と「記念ロゴ」をA4・縦型サイズに配置しました。

価格：200円　※数量限定品

＊販売方法・問い合わせ先の案内

大学生協ホームページからお申込みください。

https://kpu-m.u-coop.net/2021/03/150-1.html

企画：京都府立医科大学 150周年記念事業実行委員会
販売元：京都府立医科大学生活協同組合
住所：京都府立医科大学内
電話：075-251-5952（代表）

トリアス祭実行委員会

本年11月2日(水)、11月3日(木・祝)、3年ぶりにトリアス祭が対面で開催されます。私たち2022年度トリアス祭実行委員会は、委員長の清田倫太郎を中心とした本学の医学科と看護学科の有志による団体です。

トリアス祭公式ロゴ

トリアス祭ツイッターID
@triasfes

トリアス祭HPのリンク
https://trias.link/

コロナ禍によって2年間トリアス祭が中止されていたことにより、今年度はトリアス祭を経験していない世代が運営を行います。例年学生にとっても義務でしかなかったトリアス祭を、今年度は学生が主体となって導くことで三位一体の学園祭を築きたいと準備を進めています。また本学学生のためだけでなく、教職員や地域の皆さま、本学以外の近隣の学生に向けた取り組みにも力を入れていきたいと考えています。加えて今年度は本学創立150周年の節目の年であり、「継承し創造する未来」というスローガンのもと、150周年記念事業実行委員会と共同で記念事業を展開しています。今年度のトリアス祭でも、例年のトリアス祭での良い点を引き継ぎつつ、トリアス祭を経験していないからこその視点を活かし、新しい形のトリアス祭を学生・教職員・地域の皆さまに提供していきたいと考えています。

今年度のテーマは「UN150N」です。学生・教職員・地域の皆さまという三者の連帯と今年本学が創立150周年を迎えることを表現しています。

今年度のトリアス祭は事前企画、本祭常設企画、本祭定時企画を三本柱として行う予定です。事前企画では学生と教職員との交流を深めることを目的としたエントリー制のスポーツ大会、本学周辺の飲食店と連携したグルメ企画である「京都府立医科大もぐもぐフェスティバル」を考えています。本学の歴史にまつわる京都の史跡をまとめた歴史探索マップの作成も行います。本祭常設企画としては、体育会系部活主導による模擬店、文化系部活主導による出し物、本学の基礎・臨床教室による展示や体験企画などを行います。そして本祭定時企画として、幅広く活躍されている本学出身のOBOGを招待しキャリアについてご講演いただくKPUM大同窓会、学生と教職員が本学の歴史について交互に発表を行う創立150周年記念事業とトリアス祭の共同企画などを実施します。

2022年は創立150周年の節目の年です。コロナ禍で制約のある中ながら、3年ぶりの対面開催となるトリアス祭を盛況のうちに全うすべく全力を尽くしていきたいと思っています。

2022年度 トリアス祭テーマロゴ

卒業生からのメッセージ

看護の基本は人と人。学生時代の経験はすべて糧となります

循環器センター副看護師長　迫　拓地 さん

プロフィール

京都府京都市出身。京都市立紫野高等学校を卒業後、京都府立医科大学医学部看護学科へ入学。2008年に卒業し、京都府立医科大学附属病院に入職。
C6病棟（脳外科、神経内科、形成外科）→C8病棟（循環器内科、呼吸器内科、腎臓内科）での勤務を経て、2021年からセンター化した循環器センター（心臓血管外科、循環器内科など）で勤務。今年の4月より新たに副師長に昇格して勤務しています。

母の背中とドラマに触発されて

母が看護師だったこと、高校の頃に「ナースマン」というドラマを見て男性でも看護師ができるのだと自信を持ったことが、この道を志したきっかけです。100人クラスで男子が4人と予想以上に少数で、最初は4年間やっていけるのだろうかと不安になったり、演習では少し恥ずかしさを感じたりしましたが、そこは目標を同じくする者同士、知らぬ間に女子や男子というのは全然気にならなくなってきました。看護師を目指す後輩の皆さんにはぜひ安心してほしいと思います（笑）。

まだまだ男性看護師は少ないですが、けれども患者さんの半数は男性。人の体や心を直接的に支える現場だからこそ、男女の視点や特性のあることは、特に患者さんの心情に沿えるという意味でとても重要だと感じています。

一人一人に寄り添う大切さを学ぶ

学生時代、特に印象に残っているのは、3回生の臨地実習で脳梗塞の患者さんの回復期リハビリを担当したこと。理学療法士はもちろんですが、看護師の声かけや生活支援が患者さんのやる気を起こさせることを目の当たりにし、私自身の目指す看護師像となりました。たとえば、その患者さんはウクレレが趣味だったのですが、担当看護師がご家族にウクレレを持って来るようお願いし、枕元に置いて時々弾いてもらったり、そうした一人一人に寄り添い目標設定をする看護にとても共感したのです。

実際の仕事では当然、看取りの経験もします。患者さんのしたいこと、ご家族のやらせたいことに齟齬のある場合など大変悩むのですが、最後にご家族より「よくやっていただきました」「ありがとう」という言葉をいただくと自分自身のモチベーションとなり、患者さん達と真摯に向き合うことの大切さを改めて教えていただいているように感じます。

医学部だからこその強み

そうしたことも踏まえて、私が大事にしているのは患者さんやご家族とのコミュニケーションです。看護は人と人ですので、コミュニケーションにより信頼関係を築くことは何よりも重要だと考えています。今にして思えば、学生時代にはそれを養えるチャンスがいろいろありました。テニス部では年代の違う仲間と汗を流しましたし、今でも先輩ドクターには疾患や患者さんに対するアドバイスをもらうなど助けていただいているのは、医学部の中の看護学科という本学だからこそといえるでしょう。ホテルのバーでアルバイトをして、年の離れた大人の方々と接したのもよい経験でした。

今だから見えるものもある

今は新型コロナウイルスの影響もあり、臨地実習時間が大幅に少なくなっています。学生の皆さんには、この少ない機会をぜひ意識を持って大事にしてほしいと思います。私たちの場合は1つの病棟を3週間かけて実習しましたが、もしかしたら少しだらけてしまうということもあったかもしれないと反省しています。少ない回数に集中するからこそ学べること、見えることはきっとあるはず。それらは必ず将来の糧となります。

茶カテキン類による新型コロナウイルスの不活化

共同研究講座：分子免疫ウイルス感染防御学

共同研究機関　株式会社伊藤園

開設期間　令和4年4月1日～令和6年3月31日

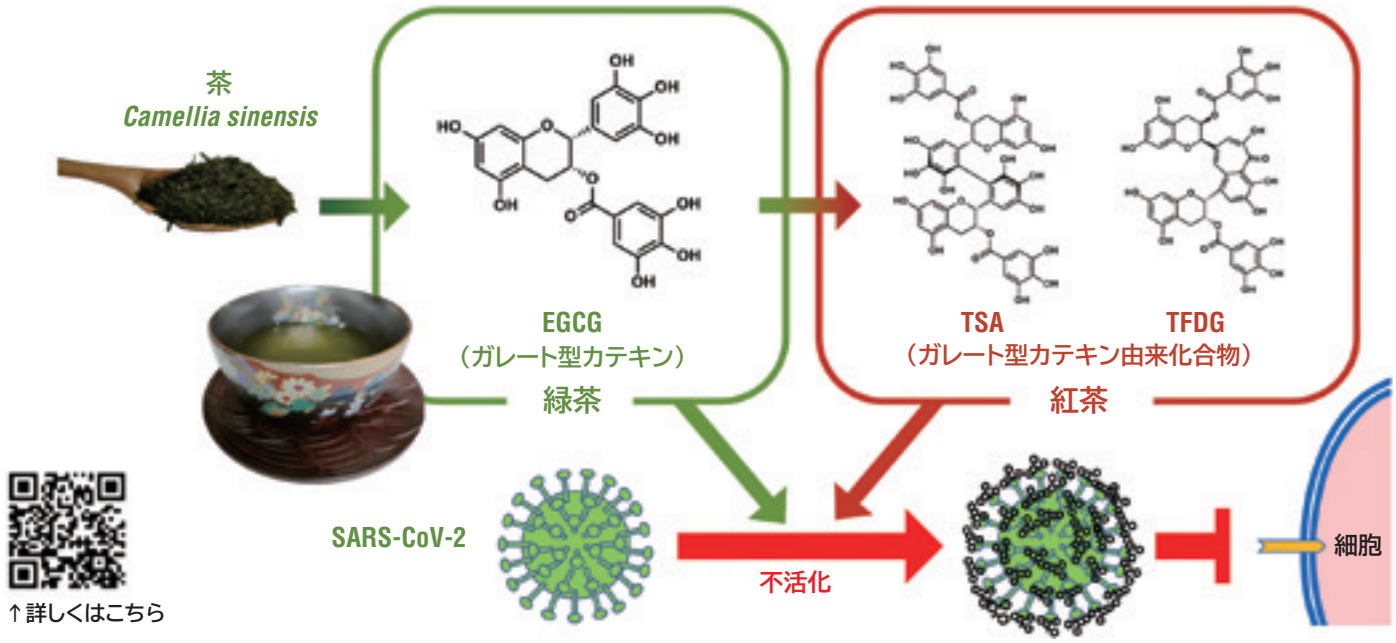
教授　松田　修（兼　免疫学）

新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の主たる感染経路は、感染者の唾液中のウイルスが飛沫を通じて近傍の人に伝播する飛沫感染です。我々は、感染者の唾液中のウイルスを不活化できれば飛沫感染の抑制につながる可能性があると考え、800種類以上の食品成分を調べました。その結果、緑茶、ほうじ茶、紅茶などの茶が、試験管内でSARS-CoV-2（Wuhan株）の感染力価を、1/100以下～検出感度以下にまで低下させることを見出しました。そこで一昨年、株式会社伊藤園との共同研究を開始し、さらにこの度、本共同研究講座を開講しました。

これまでに得られた成果の一部は、

- 抗ウイルス活性成分は、緑茶ではEGCG、紅茶ではTSA、TFDG等でした。これらのガレート型カテキン／カテキン由来化合物はスパイクたんぱくに結合し、スパイクたんぱくとACE2との結合を阻害することがわかりました。
- 感染者が茶を飲んだ状態を試験管内で模倣する実験として、健常人の唾液にSARS-CoV-2を加えた後、ここに10秒間茶を加えると、ウイルスは著明に不活化されました。
- 紅茶にミルクを加えると、ミルクに含まれるカゼインがTFDG等に結合し、ウイルス不活化能は失われました。
- オミクロン型変異株BA1、BA2およびXEも、茶葉から淹れた緑茶や紅茶によって不活化されました。種々のペットボトルの緑茶飲料では、カテキン濃度が高いもののみが抗ウイルス効果を示しました。

現在共同研究講座では、カテキン類による新型コロナウイルス不活化のさらなる基礎的解析とそれに基づく実用的な研究開発を行っています。



TOPICS

保健管理センター の紹介

保健管理センターは、本学の学生と教職員の皆さんの健康保持増進を目的に様々な保健活動を行っています。当センターは永守記念最先端がん治療研究センター棟の4階にあり、現在、統括管理者、産業医、保健師、看護師、併任の事務職員が常駐しています。

当センターには教職員部門、保健管理部門、学生部門の3部門があり、総務課や教育支援課の方々のご協力をいただきながら、教職員と学生の健康診断や各種ワクチン接種、教職員のストレスチェックや健康相談などの業務を行っています。

令和2年1月に始まった新型コロナウイルスの感染拡大により、当センターの業務は予想以上に増えました。学部学生の毎日の健康状態の把握に取り組み、さらに令和3年3月から1年間、本学・附属病院の教職員の皆さんのご協力をいただき、3回の新型コロナウイルスワクチン接種を約4,000人の教職員と学生に実施しました。

また、心の健康相談窓口を開設し、公認心理師によるメンタルサポート事業に取り組んでいます。

今後さらに、健康情報管理システムの導入や保健室機能の充実化にも取り組むとともに、ホームページから、皆さんの健康に関わる情報を広く発信してまいりたいと考えています。

皆さんが健康で安心な毎日を過ごせること、それが保健管理センターの願いです。どうぞお気軽にご相談ください。

府立医科大学保健管理センター

■ お問い合わせ先
TEL：075-251-5080（代表）

■ e-mail
hokensen@koto.kpu-m.ac.jp（代表）
hokenc01@koto.kpu-m.ac.jp（心の健康相談）
hokenc02@koto.kpu-m.ac.jp（教職員の健康相談）
hokenc03@koto.kpu-m.ac.jp（学生の健康相談）

京都府立医科大学
保健管理センター

田中保健管理センター長

保健管理センター運営メンバー（スタッフと総務課・教育支援課の皆さん）

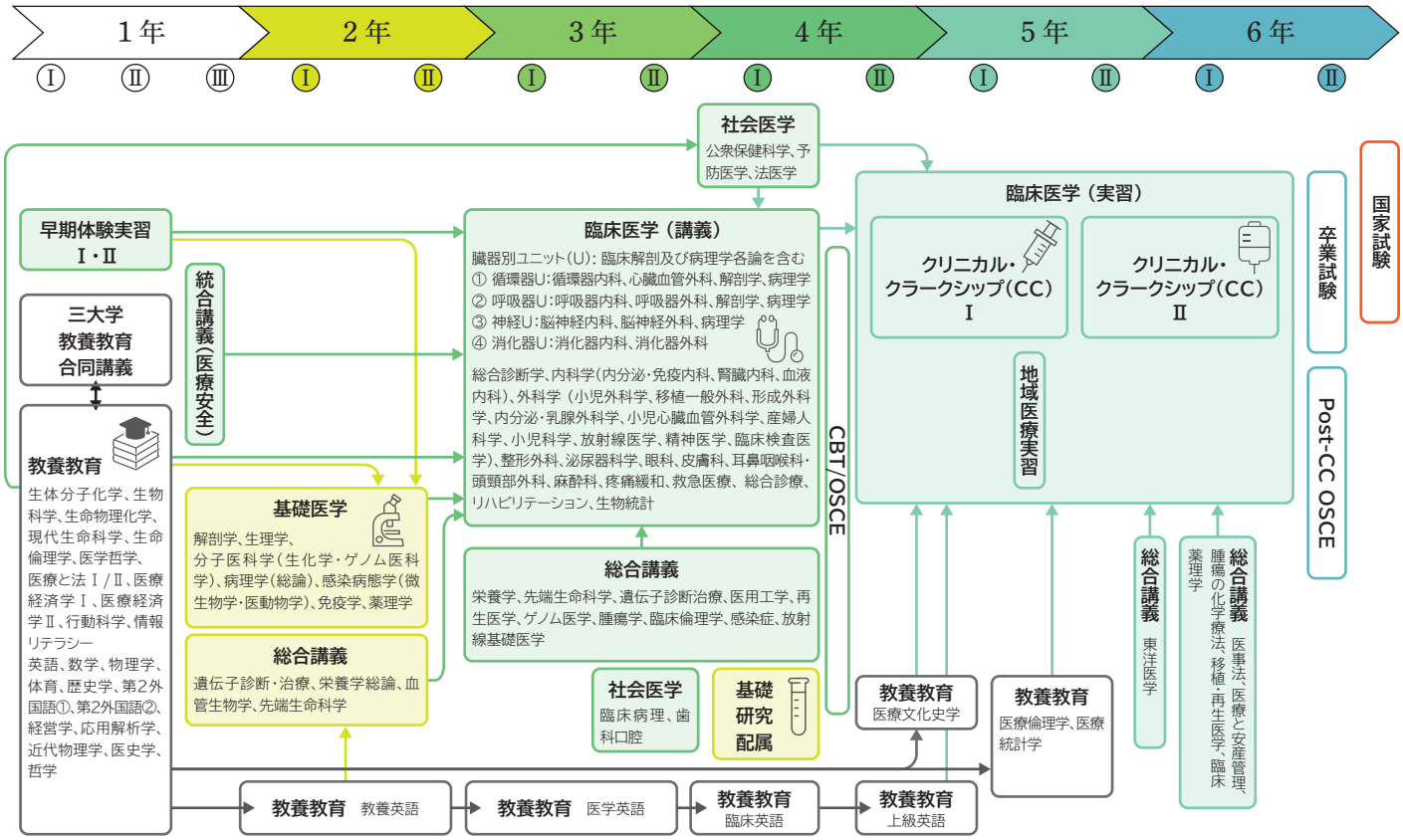
医学科カリキュラム：臓器別ユニットについて

従来の医学部では、内科学・外科学というように学問体系ごとに医学を学んでいましたが、近年の医学教育では、解剖・病理から内科・外科領域にいたるまで、一つの臓器毎の課題を横断的に学修するカリキュラムへの改革が勧められています。

本学でも令和3年から循環器、消化器、神経学、呼吸器の4領域で、各教室の先生方のご尽力により、病理学・生理学・解剖学などの基礎医学領域との「垂直統合」、内科・外科、リハビリテーション・画像診断などの「水平統合」を体現化し、臓器毎に包括的な内容の講義をユニットとして開講しました。これにより臓器毎に系統たてて学ぶことができ、学生にとっては、実地臨床に必要な知識と技能を効果的に学修できるようになりました。

このユニット講義を他臨床科目と並行して第3学年前期に配置し、その後第4学年の基礎研究配属・社会医学実習へと続くカリキュラムになりました。

医学部医学科 カリキュラム・ツリー



循環器ユニット

病理学、循環器内科、心臓血管外科、など
講義 4月　試験 5月中旬

神経ユニット

脳神経内科、脳神経外科、生理学、など
講義 7-9月　試験 9月中旬

呼吸器ユニット

呼吸器内科、呼吸器外科、放射線科、感染制御、解剖学、生理学、など
講義 5-6月　試験 6月初旬

消化器ユニット

病理学、消化器内科、消化器外科、など
講義 9-10月　試験 10月初旬

新任教授紹介

大学院医学研究科 分子病態感染制御・検査医学 教授

貫井 陽子 Nukui Yoko

着任日：2021年11月

略 歴：秋田大学医学部を卒業後、国家公務員共済組合連合会虎の門病院、聖路加国際病院で研修。東京大学医学部附属病院、東京医科歯科大学病院感染症内科・感染制御部での勤務後、2021年11月から本学分子病態感染制御・検査医学教授に着任。

千里の道も一歩から

この2年半にわたり、新型コロナウイルス感染症の最前線で闘ってきました。第1-5波までを東京で、第6波を京都で迎えることになりました。異なる環境の中で、様々なシステム構築は非常にチャレンジングであり、学びの多いものでした。

今回のパンデミックが今、起こったことは意味があると感じています。過去の感染症の歴史の中でこれほどの短期間で病態解明が進み、有効なワクチン・薬剤開発が進んだのは初めてのことです。毎日新しい知見が積み重なる中で、微力ですが医療に貢献でき、感染症内科医・感染制御医になってよかったと心から思っています。

私たちはこの経験を次のパンデミックへと生かしていく必要があります。まず大事なのは人材育成。学生の皆様に感染症に興味をもってもらうこと、感染症の未来を一緒に作ってくれる若手医師を育成することが急務だと考えています。新型コロナウイルス感染症によって多くの医療機関・施設との連携が強化できました。この連携を今後の感染症診療・感染制御システム・耐性菌等の研究体制構築に役立て、京都府のリーダーとしての活動を推進していきたいと考えています。また成果を積極的に世界へ発信することも大学病院の使命だと考えています。

今後もサル痘やインフルエンザなど多くの新興・再興感染症の流行が予想されます。私たちは行政機関や関係各所と協力しながら、京都府唯一の第一種感染症指定医療機関としての役割を十分に果たして参ります。

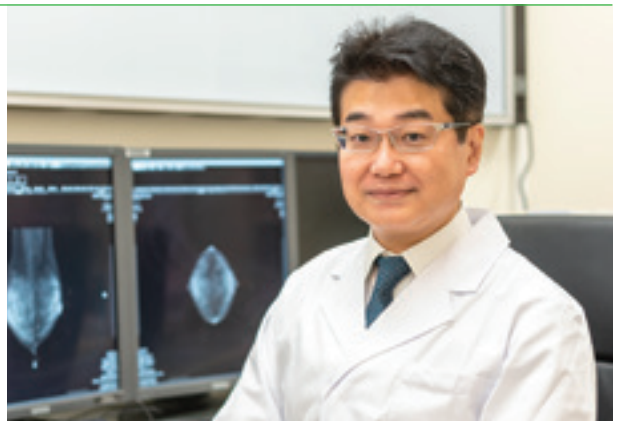
最先端の乳癌医療を提供する

私は大阪大学医学部卒業後、乳腺内分泌外科（野口眞三郎教授）に入局。臨床は乳腺外科・甲状腺外科、研究は主に乳癌オーダーメイド医療を目的とした各種遺伝子診断法の開発・実用化に携わり、代表作に国内初の多遺伝子診断法「Curebest 95GC breast」があります。

箕面市立病院、吹田市民病院等では消化器外科・呼吸器外科・救急外科等を経験した後、大学に帰局し病棟医長・診療局長を拝命、病棟管理・医局運営を学びながら乳癌/甲状腺癌等の外科手術を担当。レジメン登録数約1000件に及ぶ化学療法を施行いたしました。

大学病院では紹介乳癌患者様に対して適切な診断、治療を実施する責務があり、診断法（病理、画像、遺伝子）、化学療法、ホルモン療法、分子標的治療、手術療法（乳房切除、再建）、放射線治療法等を習得する必要がありました。また甲状腺癌、甲状腺腺腫、バセドウ病、原発性副甲状腺機能亢進症等に対する各種術式と薬物療法も必要でしたが諸先輩方に御指導を頂き、習得することができました。

今後は本学にてRotation flap乳房再建術等の低侵襲かつ安全な手術法を導入し、進行乳癌や頚部リンパ節転移例など高難度症例に対しても適切な外科手術が行えるよう術者の養成を行い、手術用新式エネルギーデバイスも導入いたします。各診療科・コメディカルの皆様とも連携を深めながら、先進的な乳癌遺伝子診断法・薬物療法を提供し、集学的治療を進めて参ります。何卒よろしくお願い申し上げます。



医学部 内分泌・乳腺外科学 教授

直居 靖人 Naoi Yasuto

着任日：2022年1月

略 歴：大阪大学医学部卒業、内分泌・乳腺外科医として研鑽を積み、准教授、病院教授を経て、2022年1月から本学内分泌・乳腺外科学、教授に着任。

医学部看護学科・保健看護学研究科
精神看護学領域 教授
郷良 淳子 Gora Junko

着任日：2021年12月

略 歴：看護師・保健師・精神看護専門看護師・公認心理師。オーストラリアUniversity of Wollongong, Graduate School of Health & Behavioural SciencesにてMaster of Science (Mental Health)を取得。日本赤十字看護大学大学院看護学研究科にて博士号(看護学)を取得。

頃合いと折り合い

看護学科や大学院保健看護学研究科では、精神看護学の科目を中心に教えています。看護師資格取得後、ほぼ精神看護の道を歩んできました。看護教員であるとともに限られた時間ですが、精神看護実践を行っています。その中で「聴くこと」「否定しないこと」「その人の希望を確認し、その希望を叶える支援をすること」「絶妙な距離感」を肝に銘じています。

自らの実践と多くの人々との関わりから得た学びを教育に還元し、その人らしさを支えるケアの基礎を身につけ、看護の将来展望をしっかり考えていける看護職の育成に力を注ぎます。研究では、思春期精神看護に関連する内容を行ってきましたが、「その人らしく生きる、その人らしく亡くなること」を支援したいと在宅精神障害者のエンド・オブ・ライフケアについて現在研究しています。

加えてコロナ禍以降、ケアする人もケアが必要だとことさら実感する日々です。看護職のメンタルヘルスのための活動は今後も引き続いて行っていきたいと思います。

看護実践、教育や研究においては、頃合いを判断し、人や事象とうまく折り合いをつけていくことの大切さをこれまでの経験から学んできました。頃合いの判断力と折り合い力を持った人として、地域精神医療の長い歴史を持つ京都で、地域精神保健医療に貢献していく所存です。

Topics

Withコロナ新時代の潜在保健師・看護師リカレント教育の報告

看護実践キャリア開発センターでは、新規事業として、令和3年10月～令和4年2月の約5ヶ月間にわたり、「Withコロナ新時代の潜在保健師・看護師リカレント教育」を開講しました。本事業は、文部科学省「就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業」に採択され、京都府看護協会との共催で実施させて頂きました。Withコロナの新しい時代において、感染対策、再就業・転職に必要な最新の知識・技術を修得し、安心して復職・転職できるためのリカレント教育を展開し、保健医療福祉の質向上に資する専門職の確実な再就職につなげることを目的としました。

受講においては、オンデマンド授業を採り入れ、対面授業による実践的な演習、就職を想定した医療機関、行政機関での実習を展開するハイブリッド形式のプログラムとしました。8名の受講生が修了され、うち、3名が新たな就職や非常勤としての就業につながっています。修了生の感想からは、これまでの自己や自身の価値について探求し、仕事や学習の動機付けとなっていたこと、他の受講生や教員との関わりにおける相互作用がキャリア形成の意欲を促進していることなどがうかがえました。

地域包括ケア時代に求められる、保健師の視点と看護師の視点の融合、職種間連携教育を意識した授業の展開、保健師と看護師がともに学ぶ意義が明確となるカリキュラムの再構築など内容を見直し、今年度も8月より開講しています。今後も様々なプログラムを通して、看護職の皆様のキャリア形成支援に取り組んでいきたいと考えています。

創立150周年記念事業への寄附のお願い

京都府立医科大学では創立150周年記念事業への寄附を募集しております。

1 150周年記念事業基金への寄附、 **2** ふるさと納税(個人のみ)での寄附をお選びいただけます。

1 京都府立医科大学 創立150周年記念事業基金への寄附

❶ 寄附申出書(所定様式)をご記入いただき、事務局総務課150周年寄附担当あてに送付願います。

※下記「お問い合わせ先」へメール・FAX・郵送にてお送りください。
※寄附申出書の様式は、下記URLからダウンロードできます。

https://www.kpu-m.ac.jp/doc/about/150kifu.html

❷ 寄附申出書を受付後、振込口座情報等をメールにてお知らせします。

※受付完了メールを受信後、振込手続きをお願いします。
※振込人名義は寄附者名とし、振込手数料はご負担願います。

❸ 振込確認後、寄附金受領書を送付いたします。

※この寄附金は、財務大臣が指定する寄附金(昭和40年大蔵省(財務省)告示第154号による指定)に該当するため、所得税法第78条第2項第2号及び法人税法第37条第3項第2号の規定により税制上の優遇措置を受けることが可能です。
なお、京都府民、京都市民の方は、個人住民税(京都府民税、京都市民税)につきましても優遇措置を受けることが可能です。

2 ふるさと納税制度での寄附

専用支払用紙による振込

❶ 「京都府電子申請システム」への入力、または京都府大学政策課あてに電話・FAX・メールにてお申込みください。

※詳細は以下の京都府立医科大学ホームページをご確認ください。

https://www.kpu-m.ac.jp/doc/about/furusatonouzei.html

※京都府文化スポーツ部大学政策課の連絡先
TEL:075-414-4526／FAX:075-414-4187
メール:daisei@pref.kyoto.lg.jp

❷ 専用支払用紙が郵送されます。

❸ 入金確認後、受領証明書が送付されます。

クレジットカードでの支払(インターネットから)

❶ F-REGI寄附支払サイトからお申込みください。

※利用いただけるのはVISA、MasterCard、JCB、AmericanExpress、DinersClubのマークがマークがついたクレジットカードです。
※詳細については以下の京都府文化スポーツ部大学政策課ホームページをご確認ください。

https://www.pref.kyoto.jp/fu-daigaku/news/furusato.html

❷ 入金確認後、受領証明書が送付されます。

顕彰制度

寄附金額に応じて、寄附者の皆様に感謝の気持ちを込めて、寄附者顕彰制度を設けています。

◎ **銘板への掲示** 大学に設置予定の銘板に御芳名を掲示させていただきます(希望により掲載しないことも可能です)。
◎ **感謝状の贈呈**

寄附・ふるさと納税に関するお問い合わせ

京都府立医科大学創立150周年記念事業実行委員会事務局
(京都府立医科大学事務局総務課内)
〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上る梶井町465番地
TEL 075-251-5210 FAX 075-211-7093 email soumu@koto.kpu-m.ac.jp

創立150周年記念事業特設サイト(大学HP)
https://150th.kpu-m.ac.jp/

発行・お問合せ 京都府公立大学法人 京都府立医科大学 事務局:企画広報課 〒602-8566京都市上京区河原町通広小路上る梶井町465番地
TEL:075-251-5804 ホームページURL:https://www.kpu-m.ac.jp E-mail:kouhou@koto.kpu-m.ac.jp

2022年9月発行